



復興まちづくり通信

一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



（ウジェスーパーのショッピングセンター建設予定地）

ウジェスーパーのショッピングセンターが着工 6月末竣工 7月開業予定！

南三陸町志津川で1月17日、ウジェスーパーのショッピングセンターの起工式が行われました。場所は、志津川天王前の国道45号線沿い。「アップルタウン南三陸ショッピングセンター」の名称で、ウジェスーパーを核店舗にホームセンターのダイエー、薬王堂の3店舗が出店します。

敷地内には310台の駐車場と160台の駐輪場を整備。1月下旬から本格的な工事に入っており、6月末頃には工事を終えて、7月下旬頃に完成した店舗から順次開業の予定です。ウジェスーパーの氏家修専務は「町民の利便性向上と、町の復興・発展に向けて努力し、満足してもらえる店にしたい」と話しました。

三陸道 南三陸海岸インターチェンジ(IC)

3月20日の供用開始が決定！

三陸沿岸道の「仮称・南三陸海岸IC」が3月20日に供用を開始します。町内の三陸道の延伸は、昨年10月の志津川ICに続き2カ所目。今回の区間(3^{キロ})の供用開始による時間短縮効果はおよそ4分。南三陸病院や建設中の南三陸町役場新庁舎などへのアクセスが飛躍的に向上することが期待されます。

南三陸海岸IC－歌津IC（仮称）間の4.2^{キロ}は、来年3月までの開通が予定されています。



（工事が進む南三陸海岸ICへの取り付け道路）

伊里前復興住宅自治会が新年会&交流会

町営伊里前復興住宅の自治会主催の「新年会&交流会」が2月4日、ホテル観洋で開かれ、入居者13人が参加しました。一行はバスで復興住宅を出発、自治会の伊藤俊会長の案内で町内の復興状況を見学した後、ホテルの宴会場で会食。カラオケなどを楽しみながら和やかに交流のひと時を過ごしました。このイベントは、宮城県の地域コミュニティ再生支援事業の補助金を受けて実施されたもので、復興みなさん会も企画・運営のお手伝いをさせていただきました。



(笑顔で記念写真に納まる交流会の参加者たち)



(海外からの参加者を含む300人が参加したフォーラム)

震災を1000年先の世代にも伝えたい！ ～ホテル観洋で被災地語り部フォーラム～

東日本大震災や過去の災害の教訓を後世に伝えていく取り組みを話し合う「東北被災地語り部フォーラム2017」が1月29日、志津川ホテル観洋を会場に開催され、南三陸町の語り部をはじめ、全国各地から約300人が参加しました。パネルディスカッションでは、石巻市の「小さな命の意味を考える会」代表の佐藤敏郎さんら3人がパネラーとして登壇。コーディネーターの復興みなさん会の後藤一磨代表の進行で、これからの語り部について意見を発表しました。

復興住宅の自治会サポートで意見交換 ～社協LSA、UR、みなさん会が交流会～

復興みなさん会が主催する「復興公営住宅の自治会サポートをテーマにした新年交流会」が2月2日、志津川東公営住宅の集会所で開かれました。社協の担当者や町内の復興公営住宅に常駐するLSA（生活援助員）、UR都市機構、復興みなさん会のメンバーなど22人が出席。各地域の復興公営住宅と入居者の現状について理解を深めたほか、それぞれの自治会が取り組んでいる交流会などの具体例について情報を共有し、今後の課題について意見交換を行いました。



(和やかな雰囲気の中で行われた交流会の様子)

一般社団法人 復興みなさん会



ジャパン・プラットフォーム (JPF) 「共に生きる」ファンド助成事業

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com